日本航空株式会社 2023年3月期 決算説明会





2023年5月2日 専務執行役員グループCFO 斎藤祐二 執行役員 弓﨑雅夫



SKYTRAX

Covid-19 Safety Rating 5-Star



SKYTRAX

COVID-19 Excellence Award



SKYTRAX

World Airline Star Rating 5-Star



SKYTRAX 2022年度

Best Economy Class Airline Seat





APEX

Health Safety Powered by SimpliFlying Audit Diamond



BEST WIFI IN EASTERN ASIA



APEX WORLD CLASS



APEX







work with Pride







2023年3月期 業績概要

- 2024年3月期 通期連結業績予想
- 2023年3月期 業績詳細

ESG社外評価



FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN)

Member of

Dow Jones Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index



気候変動「A-」評価





当社によるMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名称の

使用は、MSCI又はその関係会社による当社の後援、宣伝、販売促進を目的としていません。MSCIのサービ

スおよびデータはMSCIの独占的財産で、MSCI及びMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCI又はその関係



注.(1) 当資料における表中の値は、金額は億円未満を切り捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。また、比率は増減率が1,000%となる場合は「一」を記載しております。

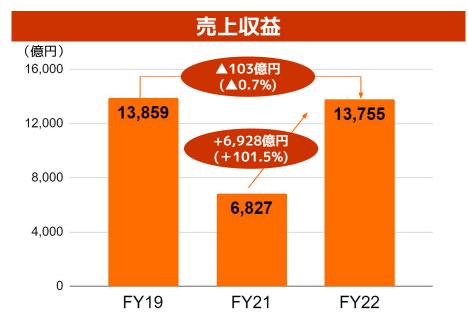
(2) FY22Q4(1月-3月)の実績はFY22Q4累計実績(4月-3月)からFY22Q3累計実績(4月-12月)を差し引いて算出しております。 (3) LCC=Low Cost Carrier

(4)※= 役員報酬算定にESG銘柄選定評価を導入しており、対象とする銘柄のうち当社が選定されているもの (5) FY22Q3においてJALUX連結化に係る暫定的な会計処理が確定したことに伴い、 FY21Q4連結財政状態計算書およびFY22Q1,Q2連結損益計算書の各数値を遡及修正しております。

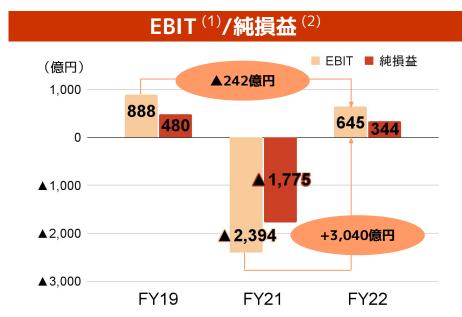
2023年3月期 業績概要



- **✓** 回復する旅客需要を取り込み、前回予想EBIT500億円を上回るEBIT645億円・純利益344億円
- ✔ 業績上振れに伴い、期末配当は当初予想から5円増配の1株当たり25円を予定



燃油・為替市況実績									
FY21 FY22 FY21比									
シンガポール・ケロシン (USD/bbl)	81.6	128.3	+57.2%						
ドバイ原油 (USD/bbl)	74.3	95.2	+28.1%						
為替 (円/USD)	111.6	134.6	+20.6%						



運航諸元/ASK								
	1	FY22(FY21比)						
	国際線 国内線		合計					
フルサービスキャリア	+67.0%	+43.6%	+54.9%					
LCC	+161.7%	+415.3%	+178.0%					
合計	+74.0%	+45.5%	+59.8%					



- 2022年度通期の売上収益は、旅客需要の着実な回復がみられたことにより、 前年度より6,928億円増加し、1兆3,755億円となりました。
- また、EBITは2月に公表した予想値より145億円増加の645億円の黒字、 純損益につきましても同じく予想値から94億円増加の344億円の黒字となりました。
- 期末配当は当初予想から5円増配の1株当たり25円を予定しています。

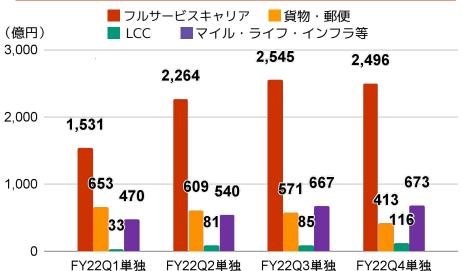
2023年3月期 事業領域別実績



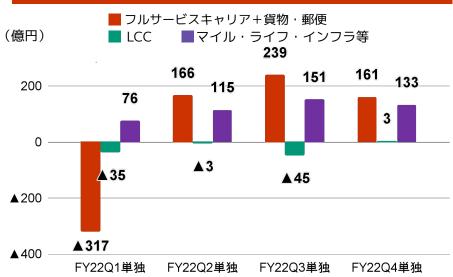
- **✓** 旅客需要は概ね想定並みに回復を遂げ、売上収益・EBITも順調に改善
- **✓** LCCのEBITは四半期単独黒字化を達成し、マイレージも安定して好調に推移

FY22通期 (単位:億円)	フルサービス キャリア	貨物・郵便	LCC (1)	マイル・ライフ インフラ等 (2)
売上収益	8,838	2,247	317	2,351
EBIT	24	19	▲80	477

FY22四半期每 売上収益推移



FY22四半期毎 EBIT推移



- 事業領域別の売上収益・EBITについては、社内管理上の簡便的手法で試算したものであり、事業セグメント別の売上収益・利益ではありません
- ・ 事業領域区分は、航空運送事業セグメント、その他とは一対一で対応しておりません
- ・ 今後社内管理ルールの変更等により、事後的に変更される可能性がある、あくまでも便宜的な数値であることをご了承願います
- ・ なお、当該社内試算値は今年度より行っているため、前年度の数字はございません
- (1) 売上収益は、連結子会社のZIPAIRおよびSPRING JAPAN、 EBITは、 連結子会社2社に加えて、持分法適用会社であるJetstar Japan
- (2) マイル・ライフ・インフラ等=旅行・マイル提携・受託事業収入など



- フルサービスキャリア事業領域の2023年3月期のEBITは、249億円の黒字となりました。
- LCC事業領域の2023年3月期のEBITは80億円の赤字でした。 またマイル・ライフ・インフラ事業領域の2023年3月期のEBITは477億円の黒字となりました。



- 1. 2023年3月期 業績概要
- 2. 2024年3月期 通期連結業績予想
- 3. 2023年3月期 業績詳細
- 4. 参考資料

2024年3月期 通期連結業績予想について



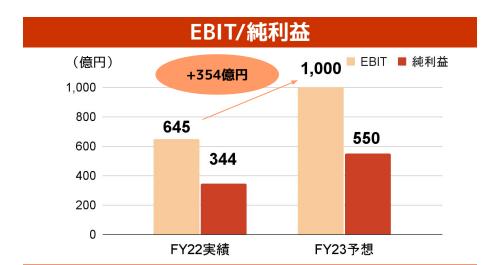
- ✔ 通期連結業績は、旅客需要の更なる回復等を背景に、売上収益16,580億円、EBIT1,000億円、 純利益550億円の増収増益を予想
- ✔ 年間配当金額は1株当たり40円予想



配当予想1株当たり配当金額25.0円40.0円中間配当-20.0円期末配当25.0円20.0円

31.7%

31.8%



燃油・為替市況前提FY22実績FY23予想シンガポール・ケロシン (USD/bbl)128.3115.0ドバイ原油 (USD/bbl)95.285.0為替 (円/USD)134.6135.0

配当性向(1)

⁽¹⁾ 配当性向=配当金総額/純利益



- 旅客需要の回復を踏まえた国内・国際旅客収入、および足元の貨物需要動向を踏まえ、2024年3月期の業績予想は、売上収益1兆6,580億円、EBIT1,000億円、純利益550億円としております。
- また、2024年3月期の1株当たり配当予想額は、通期で40円としております。
- 今後も、配当の継続性・安定性を重視し、十分な水準の利益を出した上で配当性向35%程度 以上を目指していきたいと考えております。

2024年3月期 通期連結業績予想 詳細



		FY22		FY23	
(単位:億	円)	実績	予想	前年差	前年比
売上収益		13,755	16,580	+2,824	+20.5%
フルサ	ービスキャリア	11,086	12,810	+1,723	+15.5%
	国際旅客収入	4,175	5,570	+1,394	+33.4%
	国内旅客収入	4,511	5,380	+868	+19.3%
	貨物郵便収入	2,247	1,720	▲ 527	▲23.5%
	その他収入	151	140	▲11	▲7.9%
LCC (′)	317	810	+492	+154.8%
マイル ラ等 (2	・ライフ・インフ)	2,351	2,960	+608	+25.9%
営業費用		13,446	15,710	+2,263	+16.8%
燃油費		3,233	3,870	+636	+19.7%
燃油費	以外	10,213	11,840	+1,626	+15.9%
その他収支(その他収支 (3)		130	▲206	▲61.4%
EBIT	EBIT		1,000	+354	+54.9%
純利益		344	550	+205	+59.8%

事業領域別EBIT									
(単位:億円)	FY22実績	FY23予想							
フルサービスキャリア 貨物・郵便	249	450							
LCC (1)	▲80	0							
マイル・ライフ・インフラ等 (2)	477	550							

- 事業領域別売上収益・EBITは、社内管理上の簡便的手法で試算したものであり、事業セグメント別の売上収益・利益ではありません
- 事業領域区分は、航空運送事業セグメント、その他とは一対一で対応しておりません

燃油・為替の市況変動による利益影響 (ヘッジ、燃油サーチャージ等込み)

	燃油市湿	ドバイ 原油 然油市況		75ドル	85ドル	95ドル
(億円)) (USD/bbl) シンガ ポール・ ケロシン		95ドル	105ドル	115ドル	125ドル
	12	5円	+100	+110	+40	▲ 40
(円 /USD)	13	135円 145円		+80	土0	▲ 90
, 635)	14			+50	▲ 40	▲ 90

- (1) 売上収益は、連結子会社のZIPAIRおよびSPRING JAPAN、 EBITは、 連結子会社2社に加えて、持分法 適用会社であるJetstar Japan
- (2) マイル・ライフ・インフラ等=旅行・マイル提携・受託事業収入など
- (3) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支

ヘッジ率 (5月2日時点)

FY2023 通期:35% FY2023 Q1:40%

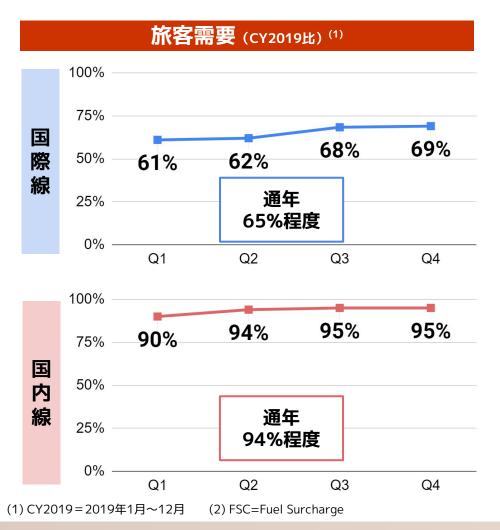


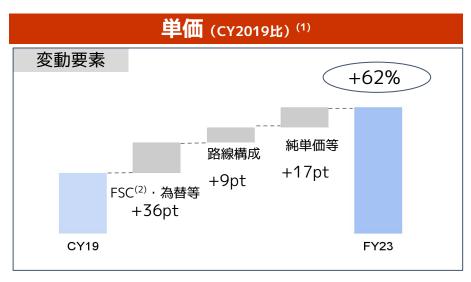
- 売上収益は前年度から 2,824億円増加の1兆6,580億円を想定しております。
- 営業費用については、燃油費は636億円増加の3,870億円を見込んでおります。また、燃油費以 外の費用につきましては1,626億円増加の1兆1,840億円、費用合計では2,263億円増加の1兆 5,710億円を見込んでおります。

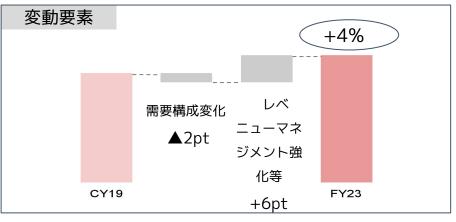
2024年3月期 通期連結業績予想 前提 国際・国内旅客(フルサービスキャリア)



- **✓** 国際旅客は、中国の出入国規制緩和が追い風。単価は引き続き高い水準を確保
- **✓** 国内旅客は、需要は概ねコロナ前水準まで回復。高い競争力を背景に単価上昇を目指す







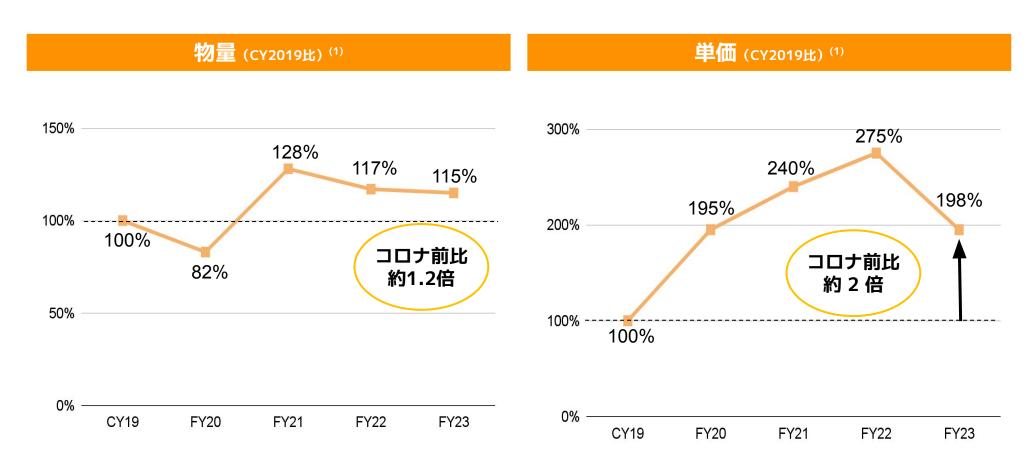


- 国際旅客需要については通期でコロナ前対比で65%を予想しております。一方で、単価はコロ ナ前対比で大きく改善することを想定しております。
- 国内旅客については、緩やかな回復を想定し、通期でコロナ前対比で94%を予想しておりま す。単価についてもレベニューマネジメントを通じたコントロールを徹底してまいります。

2024年3月期 通期連結業績予想 前提貨物 (国際)



- ✔ 自社旅客便に加えて自社767貨物機と他社貨物機を活用し、コロナ前を上回る物量を確保
- **✓** レベニューマネジメントによるネットワーク収入最大化と高単価貨物の取込強化による単価の 維持向上

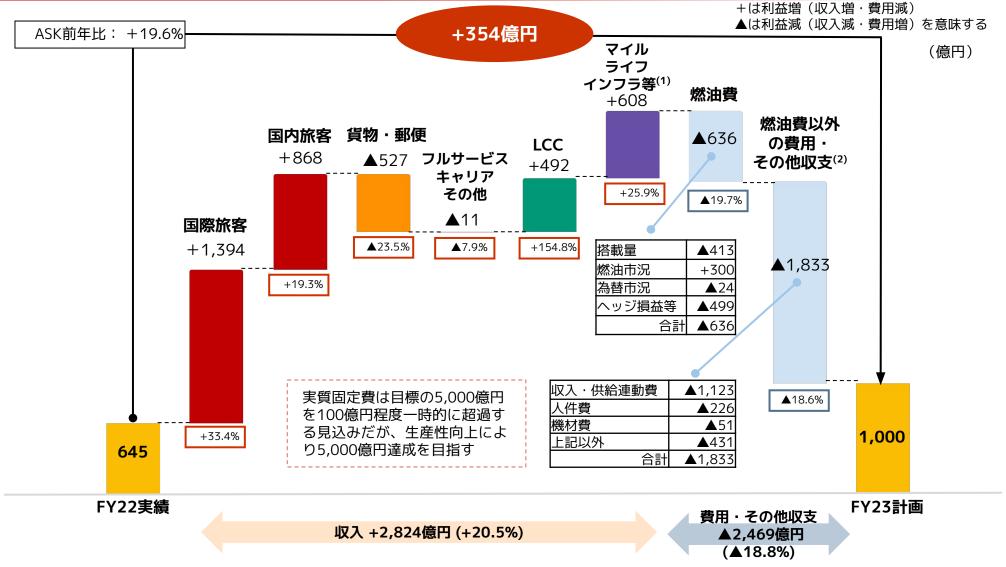




- 物量については、2019年対比で115%程度を想定しております。
- 一方、単価については、一時期のような単価の上昇局面からは落ち着きを見せるものの、2019 年対比では198%と依然高い水準となることを想定しております。

2024年3月期 通期連結業績予想 詳細 EBIT増減の推移(収入/費用)





(1) マイル・ライフ・インフラ等=旅行・マイル提携・受託事業収入など (2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支



- 収入は、各事業領域での増収を想定し、前年対比2,824億円の増加、費用については、運航便数の増加などを背景に2,469億円の増加を見込んでおります。昨年度まで手厚くいただいておりました各種補助につきましては今年度は縮小が見込まれます。
- 実質固定費につきましては、人件費を増加させたことなどにより5,000億円から約100億円超過することが見込まれておりますが、生産性向上施策などのコストコントロールを徹底し、従来お示ししてきました5,000億円レベルを目指してまいります。



- 1. 2023年3月期 業績概要
- 2. 2024年3月期 通期連結業績予想
- 3. 2023年3月期 業績詳細
- 4. 参考資料

2023年3月期 業績詳細 連結経営成績



₩ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1										
				累計					単独	
				FY1	9Q4	FY2	1Q4		FY2	1Q4
(単位:億円)	FY19Q4	FY21Q4	FY22Q4	同期差	同期比	同期差	同期比	FY22Q4	同期差	同期比
売上収益	13,859	6,827	13,755	▲103	▲0.7%	+6,928	+101.5%	3,699	+1,857	+100.8%
フルサービスキャリア	11,263	5,282	11,086	▲177	▲ 1.6%	+5,803	+109.9%	2,910	+1,486	+104.4%
国際旅客収入	4,862	687	4,175	▲ 686	▲ 14.1%	+3,487	+507.0%	1,304	+1,087	+501.2%
国内旅客収入	5,297	2,351	4,511	▲ 785	▲ 14.8%	+2,160	+91.9%	1,155	+545	+89.4%
貨物郵便収入	916	2,183	2,247	+1,331	+145.3%	+64	+2.9%	413	▲ 159	▲27.9%
その他収入	187	60	151	▲35	▲ 19.1%	+91	+152.4%	37	+13	+56.0%
LCC(1)	-	29	317	-	-	+288	+995.6%	116	+105	+956.0%
マイル・ライフ・インフラ等 (2)	2,595	1,515	2,351	▲244	▲9.4%	+836	+55.2%	673	+266	+65.4%
営業費用	13,088	9,402	13,446	+358	+2.7%	+4,044	+43.0%	3,545	+1,022	+40.5%
燃油費	2,434	1,454	3,233	+799	+32.8%	+1,778	+122.3%	816	+380	+87.2%
燃油費以外	10,654	7,947	10,213	▲ 441	▲ 4.1%	+2,265	+28.5%	2,728	+642	+30.8%
その他収支 (3)	117	180	336	+218	+185.9%	+156	+86.9%	144	+25	+21.2%
EBIT	888	▲2,394	645	▲242	▲27.3%	+3,040	-	298	+860	-
EBITマージン(%)	6.4%	-	4.7%	▲ 1.7pt	-	-	-	8.1%	-	-
純損益	480	▲1,775	344	▲ 136	▲28.4%	+2,119	-	181	+673	-
RPK(百万人丰口)	73,048	18,292	53,282	▲ 19,766	▲27.1%	+34,989	+191.3%	15,202	+9,998	+192.2%
ASK(百万席丰口)	90,109	49,271	78,717	▲11,392	▲ 12.6%	+29,446	+59.8%	21,250	+7,809	+58.1%

▲2.0pt

16.1%

(1) 連結子会社のZIPAIRおよびSPRING JAPAN

EBITDAマージン(%) (4)

- (2) マイル・ライフ・インフラ等=旅行・マイル提携・受託事業収入など
- (3) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支 (4) EBITDAマージン=EBITDA/売上収益 EBITDA=EBIT+減価償却費

18.1%

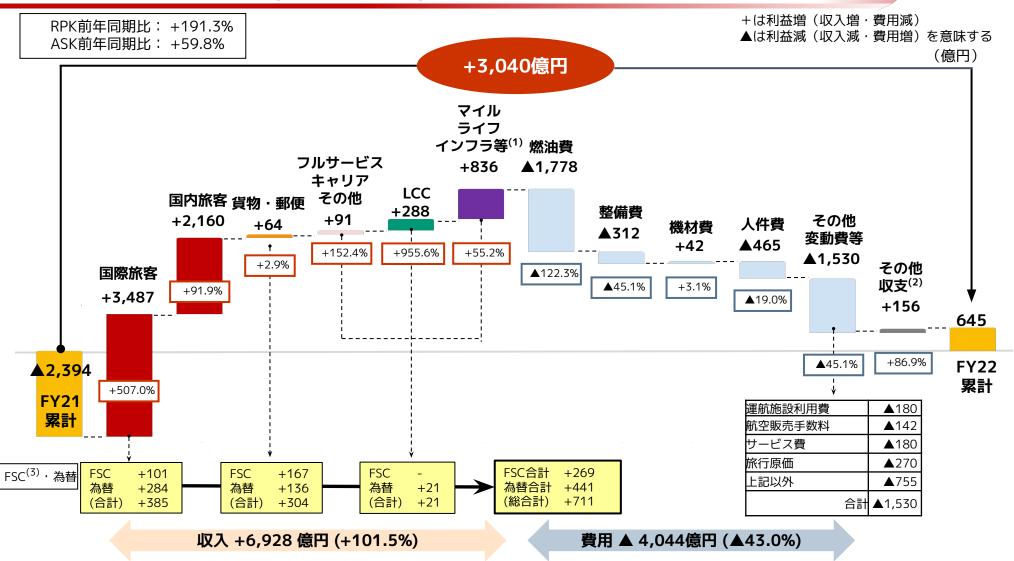
17.8%



- 11ページ以降では2023年3月期の実績を説明いたします。
- 12ページでは連結経営成績を示しております。

2023年3月期 業績詳細 EBIT増減の推移(収入/費用)





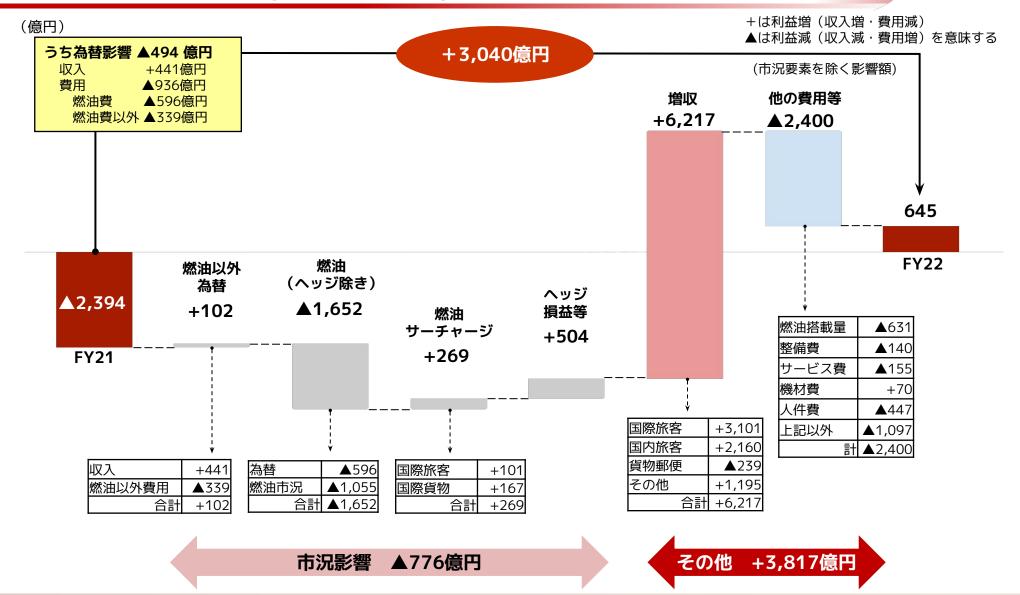
- (1) マイル・ライフ・インフラ等=旅行・マイル提携・受託事業収入など
- (2) その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支 (3) FSC=Fuel Surcharge



- 収入は、すべての事業領域で増収を実現し、前年比6,928億円の大幅な増収となりました。
- 費用は、燃油市況の高騰・円安の進行により燃油費は増加しました。また、旅客数および供給増に伴い、運航規模や旅客数に連動する費用が増加しております。

2023年3月期 業績詳細 EBIT増減の推移(市況/その他)







- こちらのページでは、EBIT改善について市況影響と、その他の要因に分けて示しております。
- 市況の影響は前年度対比で776億円のマイナス影響となりました。
- 一方、これら市況影響を除く実力ベースでは、3,817億円の収支改善を実現しております。

2023年3月期 業績詳細 国際・国内旅客事業(フルサービスキャリア)



国際旅客事業		単独						
凹际爪骨事未	FY19Q4	FY21Q4	FY22Q4	FY19Q4比	FY21Q4比	FY22Q4	FY21Q4比	
旅客収入 (億円)	4,862	687	4,175	▲ 14.1%	+507.0%	1,304	+501.2%	
有償旅客数(千人)	8,958	892	4,348	▲ 51.5%	+387.2%	1,398	+369.8%	
RPK(百万人丰口)	45,551	6,027	27,310	▲ 40.0%	+353.1%	8,180	+322.0%	
ASK(百万席キロ)	53,910	22,780	38,039	▲ 29.4%	+67.0%	10,984	+84.6%	
有償座席利用率(%)	84.5%	26.5%	71.8%	▲ 12.7pt	+45.3pt	74.5%	+41.9pt	
単価(円)(1)	54,274	77,073	96,015	+76.9%	+24.6%	93,271	+28.0%	
イールド (円) (2)	10.7	11.4	15.3	+43.2%	+34.0%	15.9	+42.5%	
ユニットレベニュー (円)(3)	9.0	3.0	11.0	+21.7%	+263.5%	11.9	+225.6%	
国内旅客事業							単独	
四門派台事未	FY19Q4	FY21Q4	FY22Q4	FY19Q4比	FY21Q4比	FY22Q4	FY21Q4比	

国内旅客事業				単独			
四川川口尹未	FY19Q4	FY21Q4	FY22Q4	FY19Q4比	FY21Q4比	FY22Q4	FY21Q4比
旅客収入(億円)	5,297	2,351	4,511	▲ 14.8%	+91.9%	1,155	+89.4%
有償旅客数(千人)	36,411	16,238	30,109	▲ 17.3%	+85.4%	7,756	+82.5%
RPK(百万人丰口)	27,496	12,089	23,090	▲ 16.0%	+91.0%	5,941	+87.0%
ASK(百万席キロ)	36,199	24,535	35,243	▲2.6%	+43.6%	8,690	+30.7%
有償座席利用率(%)	76.0%	49.3%	65.5%	▲ 10.4pt	+16.2pt	68.4%	+20.6pt
単価 (円) (1)	14,548	14,478	14,983	+3.0%	+3.5%	14,898	+3.8%
イールド (円) (2)	19.3	19.4	19.5	+1.4%	+0.5%	19.4	+1.3%
ユニットレベニュー(円)(3)	14.6	9.6	12.8	▲ 12.5%	+33.6%	13.3	+45.0%

⁽¹⁾ 単価=旅客収入/有償旅客数 (2) イールド=旅客収入/RPK (3) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK



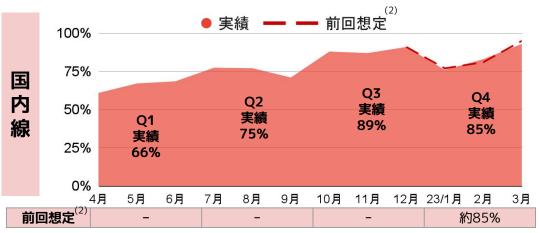
- 国際旅客は、旅客数は2019年度比49%となりました。単価が77%上昇した結果、収入は2019年 度比で86%まで回復しました。
- 国内旅客は、2019年対比で旅客数は83%の水準まで回復し、単価も3%上昇した結果、収入は 2019年度比で85%まで回復しました。

国際・国内旅客(フルサービスキャリア)



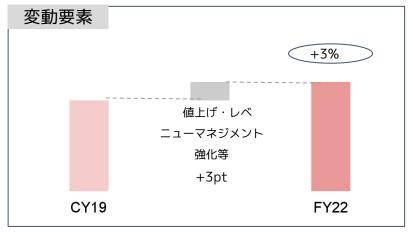
- **✓** 国際旅客は、好調なインバウンド需要を積極的に取り込み、前回想定を上回る旅客数を確保
- **✓** 国内旅客は、年度末に向けて、力強く需要が回復





単価 (CY2019比) ⁽¹⁾







- 国際旅客の第4四半期単独の旅客数はコロナ前対比58%まで回復しております。
- 国内旅客も、23年1-2月は若干低調であったものの3月にかけて大きく盛り返し、想定通りコロナ 前対比85%の旅客数となりました。
- 単価につきましても、国際線・国内線いずれも旅客需要が回復する中、適切なレベニューマネジメントにより高い水準を維持・実現できております。





国際貨物事業		単独					
	FY19Q4	FY21Q4	FY22Q4	FY19Q4比	FY21Q4比	FY22Q4	FY21Q4比
貨物収入(億円)	597	1,828	1,889	+216.2%	+3.3%	326	▲34.1%
有効貨物トンキロ(百万)	4,418	3,345	3,855	▲ 12.8%	+15.2%	1,001	+20.4 %
有償貨物トンキロ(百万)	2,407	3,113	2,795	+16.1%	▲10.2%	628	▲16.2%
貨物輸送重量(千トン)	397	506	456	+15.0%	▲9.9%	103	▲13.4%
重量単価(円/kg)	150	361	414	+175.0%	+14.7%	315	▲24.0%

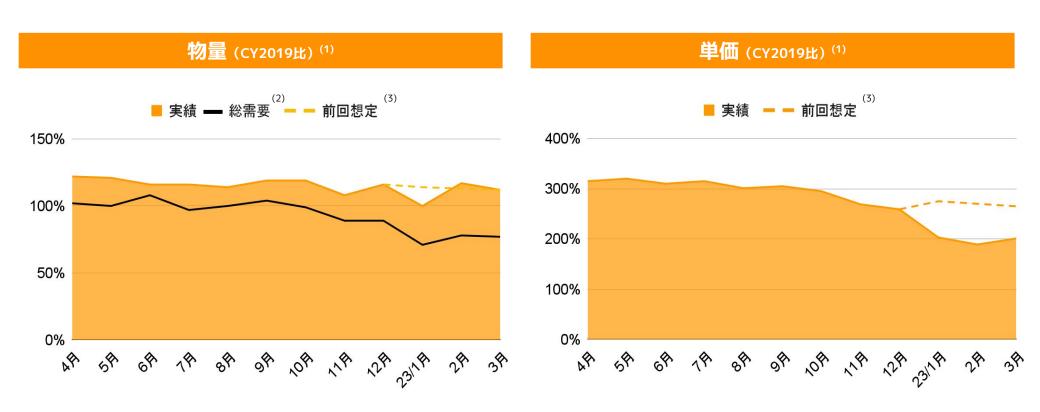
国内貨物事業		単独					
四门共物	FY19Q4	FY21Q4	FY22Q4	FY19Q4比	FY21Q4比	FY22Q4	FY21Q4比
貨物収入 (億円)	207	207	200	▲ 3.4%	▲ 3.5%	47	+8.7 %
有効貨物トンキロ(百万)	1,671	1,113	1,620	▲ 3.1%	+45.5%	399	+33.0 %
有償貨物トンキロ(百万)	328	231	280	▲ 14.5%	+21.2%	69	+23.9 %
貨物輸送重量(千トン)	355	239	294	▲ 17.0%	+22.9%	72	+24.0 %
重量単価(円/kg)	58	87	68	+16.4%	▲ 21.5%	66	▲12.3%



- 国際貨物は、航空貨物総需要が減退する中、当社の輸送重量は第4四半期単独で前年同期比で13.4%の減少となりました。
- また、重量単価についても需給バランスの緩和が進み、第4四半期単独で前年同期比で24%の減少となりました。
- 次のページにて物量と単価の詳細を説明しております。

Z

- 貨物(国際)
- **✓** 物量は、前回想定をやや下回ったものの、総需要以上の水準は確保
- **✓** 単価は、マーケット全体の供給量回復と貨物需要の急激な冷え込みにより、前回想定を下回った



(1)CY2019=2019年1月~12月 (2)総需要は航空貨物運送協会(JAFA)統計値(日本発着)より算出 (3)前回想定は2023年2月2日公表値



- 物量につきましては総需要が下落する環境でありましたが、当社では微減にとどめております。
- また、単価につきましても前回の想定からは下回って推移したものの、依然として2019年対比で は高い水準を維持することができました。

2023年3月期 業績詳細 LCC



			ZIPAIR	SPRING JAPAN (1)(2)				
LCC	累計		単独			累計	単独	
	FY21Q4	FY22Q4	FY21Q4比	FY22Q4	FY21Q4比	FY22Q4	FY22Q4	FY21Q4比
旅客収入(億円)	7	224	-	84	-	82	27	+344.5%
有償旅客数(千人)	25	488	_	182	-	481	141	+355.9%
RPK(百万人丰口)	98	2,471	_	952	-	409	127	+357.9%
ASK(百万席丰口)	1,791	4,674	+160.9%	1,371	+76.2%	760	204	+222.9%
有償座席利用率(%)	5.5%	52.9%	+47.4pt	69.4%	+61.7pt	53.8%	62.5%	+18.4pt
単価(円)(3)	27,803	45,983	+65.4%	46,653	+57.4%	17,092	19,517	▲2.5%
イールド (円) (4)	7.3	9.1	+25.0%	8.9	+27.6%	20.1	21.6	▲2.9%
ユニットレベニュー (円) (5)	0.4	4.8	_	6.2	_	10.8	13.5	+37.7%

参考 		累計	単独		
Jetstar Japan	FY21Q4	FY22Q4	FY21Q4比	FY22Q4	FY21Q4比
有償旅客数(千人)	2,919	4,382	+50.1%	1,193	+49.6%
有償座席利用率(%)	72.7%	77.9%	+5.2pt	80.9%	+8.0pt

- (1)FY21Q1はSPRING JAPAN連結前のため不算入
- (2)国際線および国内線合算
- (3)単価=旅客収入/有償旅客数
- (4)イールド=旅客収入/RPK
- (5)ユニットレベニュー=旅客収入/ASK



- ZIPAIRは、回復する国際旅客需要を確実につかみ、国際旅客需要の回復とともに旅客数を順調 に伸ばしております。
- SPRING JAPANは、中国線の増便が困難である中で国内線にリソースを振り向けることで対応してまいりました。

費用詳細



✔ 実質固定費は、通期で4,925億円となり、年間5,000億円の目標水準を達成

主要営業費用項目

工义口未	スパリケスト	•										
				累計					単独			
(単位:億円)				FY1	FY19Q4		FY19Q4		1Q4		FY2	1Q4
	FY19Q4	FY21Q4	FY22Q4	同期差	同期比	同期差	同期比	FY22Q4	同期差	同期比		
燃油費	2,434	1,454	3,233	+799	+32.8%	+1,778	+122.3%	816	+380	+87.2%		
運航施設利用費	848	345	526	▲321	▲37.9%	+180	+52.3%	142	+56	+65.9%		
整備費	740	691	1,003	+263	+35.5%	+312	+45.1%	234	+45	+24.0%		
航空販売手数料	170	77	220	+50	+29.4%	+142	+184.2%	69	+44	+179.1%		
サービス費(1)	444	148	329	▲115	▲25.9%	+180	+121.8%	94	+54	+133.8%		
他変動費(2)	2,041	1,030	1,776	▲265	▲ 13.0%	+746	+72.4%	504	+236	+88.3%		
機材費(3)	1,341	1,401	1,358	+17	+1.3%	▲ 42	▲3.1%	340	▲ 37	▲10.0%		
人件費(3)	2,913	2,457	2,923	+9	+0.3%	+465	+19.0%	807	+186	+30.0%		
その他の費用(3)	2,155	1,795	2,075	▲ 79	▲3.7%	+280	+15.6%	536	+56	+11.9%		
営業費用合計	13,088	9,402	13,446	+358	+2.7%	+4,044	+43.0%	3,545	+1,022	+40.5%		

変動的要素や 一時的要素を除外



■ 実質固定費 ■ 固定費(実質固定費以外) ■ 変動費

FY21Q4 4,657 50% 9,402
FY22Q4 4,925 37% 13,446

(1) サービス費=機内・ラウンジ・貨物などのサービスに関わる費用 (2) 他変動費=旅行・マイル提携・受託事業原価 など

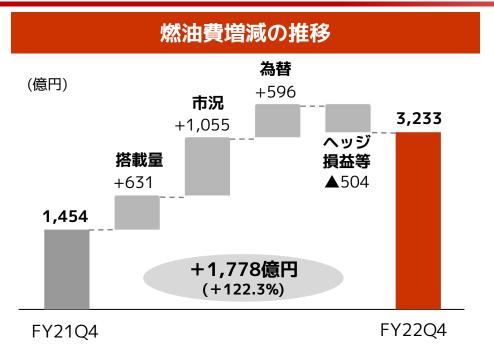
- (3) 科目上固定費となるが、運航規模・旅客数等による変動的要素がある費用や事業構造改革に伴う一時的/追加的な費用を含む
- (4) 実質固定費とは科目上の固定費のうち、運航規模・旅客数等による変動的要素がある費用や事業構造改革に伴う一時的/追加的な費用を除いた費用

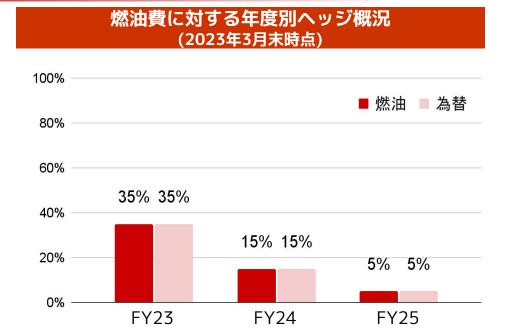


- 燃油費の上昇と円安の進行という市況影響に加え、運航規模や旅客数に連動する費用が増加した結果、2023年3月期の営業費用は前年度対比で4,044億円増の1兆3,446億円となりました。
- 実質固定費は4,925億円となり、年間目標水準の5,000億円を下回る水準とすることができました。

燃油費



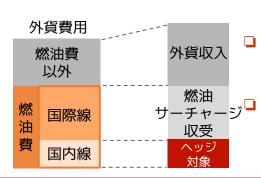




為替ヘッジ

燃油使用量 燃油 国際線 サーチャージ 実施、燃油市況変動に対応 収受 国際線使用量は燃油サーチャー ジ収受にて対応 国内線

燃油ヘッジ



- 国内線使用量の燃油費を対象に ヘッジ実施、 燃油費における為 替市況変動に対応
- 足許では海外発需要の高まりに より、外貨収入が燃油費を除く 外貨費用を上回る



- 2023年3月期の燃油費は前年から1,778億円増加の3,233億円でした。
- 右上のグラフは現在のヘッジの進捗状況をお示ししております。また、下段には、ご参考までに当 社の燃油および為替のヘッジ量の概念図を記載しております。

2023年3月期 業績詳細 財務状況・キャッシュフロー状況



BS

✓ 格付評価上の自己資本比率39.3%、ネットD/Eレシオ0.1倍と健全な水準を維持

CF

✓ 営業キャッシュフローは2,929億円、フリーキャッシュフローも1,801億円のキャッシュインフローへ大きく改善

連結財政	汉状態計算書	FY21期末	FY22期末	FY21期末差
総資産		23,757	25,206	+1,448
現金および現金同等	等物	4,942	6,392	+1,450
有利子負債	有利子負債		9,255	▲29
	1年内返済 (※1)	867 (144)	1,119 (166)	+251 (+21)
自己資本(1)		7,997	8,162	+165
自己資本比率 (%) (自己資本比率 (%) (2)(※2)		32.4% (39.3%)	▲1.3pt (▲1.7pt)
D/Eレシオ (倍) (3)		1.2x	1.1x	▲ 0.0x
ネットD/Eレシオ (倍) (4)(※3)		0.5x (0.3x)	0.4x (0.1x)	▲0.2x (▲0.2x)
連結キャッシ	/ュフロー計算書	FY21Q4	FY22Q4	前年同期差
営業キャッシュフロ]—	▲1,035	2,929	+3,964
減価償却費		1,784	1,574	▲210
投資キャッシュフロ]—	▲1,737	▲1,127	+610
投資·出資額		▲1,895	▲ 1,286	+608
フリーキャッシュフ	7ロー (5)	▲2,773	1,801	+4,574
財務キャッシュフロー		3,592	▲ 384	▲3,977
キャッシュフロー合計 (6)		819	1,416	+597
EBITDA (7)		▲ 610	2,220	+2,830

(単位:億円)

- ※1()内の数字は、1年内返済のうち航空機リース料
- ※2 ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを 加味した格付評価上の自己資本比率
- ※3 ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを 加味した格付評価上のネットD/Eレシオ
- (1) 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分
- (2) 自己資本比率=親会社所有者帰属持分比率
- (3) D/Eレシオ=有利子負債/自己資本
- (4) ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現金および現金 同等物)/自己資本
- (5) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー+ 投資キャッシュフロー
- (6) キャッシュフロー合計=営業キャッシュフロー +投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー
- (7) EBITDA=EBIT+減価償却費



- 格付評価上の自己資本比率は39.3%、同じくネットDEレシオは0.1倍と、引き続き健全な水準を維持しております。
- 3月末の手元現預金は、前年度末より1,450億円増えて6,392億円となり、引き続き十分な手元流 動性を確保しております。
- キャッシュフローですが、EBITDAは2,220億円の黒字となり、営業キャッシュフローもあって1,416 億円のキャッシュインフローとなりました。フリーキャッシュフローも1,801億円の黒字となっております。
- 23ページ以降は参考資料です。



- 1. 2023年3月期 業績概要
- 2. 2024年3月期 通期連結業績予想
- 3. 2023年3月期 業績詳細
- 4. 参考資料

参考資料

国際線大路別実績(フルサービスキャリア)



旅客収入									
(単位:%)		累計	単独						
(半位.%)	FY22Q4構成比	FY19Q4比	FY21Q4比	FY22Q4構成比	FY21Q4比				
米大陸線	38%	+15.4%	+400.7%	35%	+408.0%				
欧州線	18%	▲ 3.1%	+620.9%	16%	+568.4%				
アジア・オセアニア線	34%	▲8.1%	+633.8%	38%	+592.7%				
中国線	3%	▲ 72.6%	+159.4%	4%	+225.7%				
ハワイ・グアム線	7%	▲ 58.6%	+1,246.1%	7%	+1,135.5%				
全路線	100%	▲ 14.1%	+507.0%	100%	+501.3%				

		ASI	<			
(単位: 累計				単独		
百万席キロ)	FY22Q4	FY19Q4比	FY21Q4比	FY22Q4	FY21Q4比	
米大陸線	16,254	▲ 1.8%	+48.3%	4,446	+62.4%	
欧州線	5,455	▲ 31.6%	+22.1%	1,632	+64.8%	
アジア・オセアニア線	12,968	▲30.6%	+98.6%	3,817	+106.4%	
中国線	377	▲88.6%	+22.3%	163	+27.1%	
ハワイ・グアム線	2,983	▲ 59.5%	+482.9%	923	+281.2%	
全路線	38,039	▲29.4%	+67.0%	10,984	+84.6%	

	· ·			·	
		RPk	(
(単位:		累計	単独		
百万人キロ)	FY22Q4	FY19Q4比	FY21Q4比	FY22Q4	FY21Q4比
米大陸線	12,015	▲15.5%	+276.0%	3,376	+253.4%
欧州線	3,640	▲ 46.1%	+333.0%	1,048	+333.1%
アシ゛ア・オセアニア線	9,516	▲39.2%	+456.0%	3,057	+373.2%
中国線	203	▲92.0%	+97.5%	95	+204.7%
ハワイ・グアム線	1,934	▲ 69.6%	+994.7%	602	+850.8%
全路線	27,310	▲ 40.0%	+353.1%	8,180	+322.0%

有償旅客数								
(単位:千人)		累計	単独					
(辛世.十八)	FY22Q4	FY19Q4比	FY21Q4比	FY22Q4	FY21Q4比			
米大陸線	1,291	▲ 14.5%	+276.8%	364	+253.4%			
欧州線	389	▲48.1%	+329.5%	111	+331.1%			
アジア・オセアニア線	2,247	▲ 46.6%	+495.2%	774	+443.4%			
中国線	103	▲92.4%	+96.6%	49	+208.4%			
ハワイ・グアム線	315	▲ 71.8%	+1,003.5%	98	+861.7%			
全路線	4,348	▲ 51.5%	+387.2%	1,398	+369.8%			

有償座席利用率								
(単位:%)		累計	単	独				
(半位, 76)	FY22Q4	FY19Q4	FY21Q4	FY22Q4	FY21Q4			
米大陸線	73.9%	85.9%	29.2%	75.9%	34.9%			
欧州線	66.7%	84.7%	18.8%	64.2%	24.4%			
アジア・オセアニア線	73.4%	83.6%	26.2%	80.1%	34.9%			
中国線	54.0%	77.0%	33.4%	58.7%	24.5%			
ハワイ・グアム線	64.8%	86.5%	34.5%	65.2%	26.2%			
全路線	71.8%	84.5%	26.5%	74.5%	32.6%			

参考資料 航空機一覧



				前期末 202	2/3/31		当期	末 2023/3/3	1	増減
			所有	リース	合計1	合計2 退役済み機材除く	所有	リース	合計	当期末合計- 前期末合計2
		Airbus A350-900	11	4	15	15	12	4	16	+1
		Boeing 777-300ER	13	0 (1) 13	13	13	0	13	0
	大型	Boeing 777-300	4	0	4	0	0	0	0	0
	機	Boeing 777-200ER	8	0	8	5	3	0	3	▲2
		Boeing 777-200	4	0	4	0	0	0	0	0
フ		大型機 小計	40	4	44	33	28	4	32	▲1
ル サ		Boeing 787-9	19	3	22	22	19	3	22	0
ا	中型	Boeing 787-8	25	0	25	25	25	0	25	0
Ė	機	Boeing 767-300ER	29	0	29	29	16	11	27	▲2
ス		中型機 小計	73	3 (1	.) 76	76	60	14	74	▲2
キ ヤ	小 型	Boeing 737-800	47	12	59	58	47	9	56	▲2
リ	機	小型機 小計	47	12	59	58	47	9	56	▲2
ア	リー	Embraer 170 / Embraer 190	32	0	32	32	32	0	32	0
	ジョ	De Havilland DHC-8-400CC	5	0	5	5	5	0	5	0
	ナル	ATR42-600 / ATR72-600	12	1	13	13	13	1	14	+1
	機	リージョナル機 小計	49	1	50	50	50	1	51	+1
		フルサービスキャリア 合計	209	20	229	217	185	28	213	▲ 4
LCC		Boeing 787-8	4	0	4	4	5	0	5	+1
		Boeing 737-800	0	6	6	6	0	6	6	0
		LCC 合計	4	6	10	10	5	6	11	+1
		総計	213	26	239	227	190	34	224	▲3

(1) 合計1と合計2の差異は期末時点における退役済み(売却待ち)機材

参考資料 2024年3月期 通期連結業績予想 国際・国内旅客事業(フルサービスキャリア)



国際旅客事業	CY19 (4)	FY22	FY22 FY23	CY19比 (%) (座席利用率のみ実数)			FY22比 (%) (座席利用率のみ実数)		
			通期	上期	下期	通期	上期	下期	
旅客収入 (億円)	5,312	4,175	5,570	+4.8%	▲ 1.6%	+11.5%	+33.3%	+64.4%	+13.3%
有償旅客数(千人)	9,796	4,348	6,330	▲35.4%	▲ 38.6%	▲32.1%	+45.6%	+74.2%	+26.4%
RPK(百万人丰口)	48,822	27,310	35,102	▲28.1%	▲30.4%	▲25.8%	+28.5%	+48.7%	+13.7%
ASK(百万席キロ)	55,177	38,039	47,547	▲ 13.8%	▲ 14.4%	▲13.2%	+25.0%	+45.2%	+9.7%
有償座席利用率(%)	88.5%	71.8%	73.8%	73.8%	72.3%	75.4%	73.8%	72.3%	75.4%
単価 (円) (1)	54,229	96,015	87,927	+62.1%	+60.3%	+64.2%	▲8.4%	▲ 5.6%	▲ 10.3%
イールド (円) (2)	10.9	15.3	15.9	+45.7%	+41.2%	+50.3%	+3.7%	+10.6%	▲0.3%
ユニットレベニュー (円)(3)	9.6	11.0	11.7	+21.6%	+15.0%	+28.5%	+6.6%	+13.2%	+3.3%

国内旅客事業	CY19 (4)	4) FY22 FY		CY19 (4) FY22			CY19比 (%) 閉利用率のみま	ミ数)		FY22比 (%) 常利用率のみ実	[数)
				通期	上期	下期	通期	上期	下期		
旅客収入(億円)	5,542	4,511	5,380	▲2.8%	▲ 5.7%	+0.3%	+19.4%	+29.2%	+11.0%		
有償旅客数(千人)	38,368	30,109	35,994	▲ 6.2%	▲ 7.2%	▲ 5.2%	+19.5%	+31.4%	+9.7%		
RPK(百万人丰口)	29,070	23,090	27,455	▲ 5.6%	▲ 6.4%	▲ 4.7%	+18.9%	+30.4%	+9.2%		
ASK(百万席丰口)	36,539	35,243	35,543	▲2.7%	▲2.8%	▲2.6%	+0.9%	+2.3%	▲0.6%		
有償座席利用率(%)	79.6%	65.5%	77.2%	77.2%	77.0%	77.5%	77.2%	77.0%	77.5%		
単価(円)(1)	14,445	14,983	14,967	+3.6%	+1.6%	+5.7%	▲0.1%	▲ 1.7%	+1.2%		
イールド (円) (2)	19.1	19.5	19.6	+2.9%	+0.8%	+5.2%	+0.4%	▲0.9%	+1.6%		
ユニットレベニュー (円)(3)	15.2	12.8	15.2	▲0.1%	▲2.9%	+2.9%	+18.4%	+26.2%	+11.7%		

- (1) 単価=旅客収入/有償旅客数 (2) イールド=旅客収入/RPK (3) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK
- (4) CY2019=2019年1月~12月。ただし、1月~3月は社内管理上の簡便的手法で試算したIFRS値を使用。

参考資料 2024年3月期

2024年3月期 通期連結業績予想



財務諸表

連結財政状態計算書	FY22期末 (実績)	FY23期末 (予想)	FY22期末差
総資産	25,206	25,440	+233
有利子負債	9,255	8,830	▲425
自己資本(1)	8,162	8,500	+337
自己資本比率 (%) (2)(※1)	32.4% (39.3%)	33.4% (40.3%)	+1.0pt (+1.0pt)
D/Eレシオ (倍) (3)	1.1x	1.0x	▲ 0.1x
ネットD/Eレシオ (倍) (4)(※2)	0.4x (0.1x)	0.3x (0.1x)	▲ 0.0x (▲ 0.0x)
ROIC(5)	3.3%	5.1%	+1.8%
ROE(6)	4.3%	6.6%	+2.4%

連結キャッシュフロー計算書	FY22Q4 (実績)	FY23Q4 (予想)	前年同期差
営業キャッシュフロー	2,929	2,780	▲149
投資キャッシュフロー	▲1,127	▲2,270	▲1,142
フリーキャッシュフロー (7)	1,801	510	▲1,291
財務キャッシュフロー	▲ 384	▲ 940	▲ 555
EBITDA (8)	2,220	2,530	+309

(単位:億円)

- ※1 ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを 加味した格付評価上の自己資本比率
- ※2 ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを 加味した格付評価上のネットD/Eレシオ
- (1) 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分
- (2) 自己資本比率=親会社所有者帰属持分比率
- (3) D/Eレシオ=有利子負債/自己資本
- (4) ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現金および現金 同等物)/自己資本
- (5) EBIT(税引後)/期首・期末固定資産*平均 *固定資産=棚卸資産+非流動資産 - 繰延税金資 産ー退職給付に係る資産
- (6) 親会社株主に帰属する当期純利益/期首・期末自己 資本平均
- (7) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー+ 投資キャッシュフロー
- (8) EBITDA=EBIT+減価償却費



明日の空へ、日本の翼



当資料に関するお問い合わせ先 日本航空株式会社

財務·経理本部 財務部

免責事項



本資料には、日本航空株式会社(以下「当社」といいます)及びそのグループ会社(以下当社とあわせて「当社グループ」といいます)に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点(又はそこに別途明記された時点)において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点(又はそこに別途明記された時点)のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。

従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではございません。 なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。